

平尾雅子
ヴィオラ・ダ・ガンバ



平井み帆
チェンバロ



フランス宮廷の華 ヴィオラ・ダ・ガンバとチェンバロが奏でる リュリ氏へのオマージュ

Hommage à Monsieur Lully joué par viole et clavecin

マレ:リュリ氏のトンボー、スペインのフォリア、嘆き、シャリヴァリ、人の声
L.クーフラン:プレリュード、バッサカイユ ト調
リュリ/ダンゲルベール編曲:ファエトンのシャコンヌ
マレ/ダンゲルベール:サラバンド・マレ 他
※都合により曲目が変更になる場合がございます

東京公演

2025年11月24日(月・祝)14:00開演/13:30開場
今井館聖書講堂
東京都文京区本駒込6-11-15

山手線「駒込駅」徒歩11分/南北線「駒込駅」徒歩8分
都営三田線「千石駅」徒歩5分

チケット取り扱い

東京古典楽器センター 03-3952-5515

TIGET <https://tiget.net/events/412881> ▶



富山公演

2025年11月29日(土)14:00開演/13:30開場
ボルファートとやま2F チャペル
富山県富山市奥田新町8-1

JR「富山駅」北口徒歩5分

・駐車場は「富山北モータープール」をご利用下さい

チケット取り扱い

アスネットカウンター(オーバードホール1階) 076-445-5511

アーツナビ(富山県民会館/高岡文化ホール/
新川文化ホール/富山県教育文化会館)

TIGET <https://tiget.net/events/412884> ▶



料金(全席自由・両公演)

前売り4,500円

当日5,000円

学生(U25)3,000円

お問合せ

オフィスサワイ 090-2243-3210

(担当者直通10:00~20:00)

officesawaimusic@gmail.com

主催

ミューズコンサート企画

tel & fax 0422-44-5306

muse_cp@mbr.nifty.com

後援

富山古楽協会

フランス宮廷の華 ヴィオラ・ダ・ガンバとチェンバロが奏でる リュリ氏へのオマージュ



ジャン＝バティスト・リュリ
(1632-1687)

17 世紀後半から 18 世紀初めにかけて、ルイ 14 世の宮廷には数多の音楽家たちが集結して、王族たちを愉しませるために切磋琢磨する日々を送っていました。宮廷楽団の指揮を取っていたのはイタリアから帰化したジャン＝バティスト・リュリという人物で、王から厚い信頼を得て権力を欲しいままにしていました。この演奏会ではリュリと深い関係にあった、ヴィオール（ヴィオラ・ダ・ガンバ）奏者のマラン・マレ、そしてクラヴサン（チェンバロ）奏者のルイ・クープラン、ジャン＝アンリ・ダングルベールの作品を取り上げます。いずれもリュリが指揮する宮廷楽団で活躍した奏者たちです。

宮廷楽長リュリの影響は、大編成のオペラやバレばかりでなく小編成の室内楽や独奏曲にまで及び、彼の大編成用の作品がクラヴサン独奏用の編曲で演奏されることもありました。またマレを始め多くのバロックの作曲家が手がけたフォリアは、元はといえば古い時代のフォリアをリュリがサラバンドのリズムと合体させたものといわれています。リュリの死後、トンボー（墓碑）と呼ばれる長大な追悼曲が次世代の音楽家たちによって作曲されたのも、彼の残した功績の大きさを物語っているといえるでしょう。

休日の午後のひととき、ルイ王朝で奏でられたヴィオールとクラヴサンのための音楽に浸ってみませんか。美しく威厳に満ちたリュリ・ワールドが垣間見られることでしょう。ご来場をお待ちしております。

プロフィール

平尾雅子(ヴィオラ・ダ・ガンバ)

京都に生まれる。国立音楽大学楽理科卒業。スイスのバーゼル・スコラ・カントールムでディプロマを取得。更にオランダのハーグ王立音楽院で研鑽を積む。故大橋敏成、ジョルディ・サヴァル、ヴィーラント・クイケン各氏に師事。在欧中は「エスペリオン XX」のメンバーとして活動した。帰国後、自らの研究とアイデアを生かした様々な演奏会を企画、内外の名手達と共演。またマラン・マレの横顔>no.1~5、<J.S. バッハ ヴィオラ・ダ・ガンバとチェンバロのためのソナタ全3曲他>、<F. クープラン ヴィオールのための音楽> [ALM] など多くの CD がリリースされる中、マラン・マレの横顔 IV>は第 45 回レコード芸術誌「音楽史部門」アカデミー賞を受賞、<ディエゴ・オルティス ルネサンス装飾の粹 レセルカーダ集&典礼曲集>は朝日新聞及びレコード芸術誌特選盤に選ばれた。オルティス著《変奏論》(1553)を邦訳 [アルテスパブリッシング]、同書の曲集 D.Ortiz : Recercate [edition offenburg] を編集。元国立音楽大学及び京都市立芸術大学音楽学部非常勤講師。現在、富山古楽協会講師。2018 年より国際バッハ・アーベル・ヴィオラ・ダ・ガンバコンクール審査員。

平井み帆(チェンバロ)

富山県出身。桐朋学園大学ピアノ科卒業。同大学研究科、デン・ハーグ王立音楽院（チェンバロ専攻）修了。有田千代子、ジャック・オッホの各氏に師事。在学中よりユトレヒト古楽フェスティバルに出演する等、ヨーロッパ各地で演奏活動を展開する。帰国後は、北とびあ国際音楽祭等、主要な音楽祭に出演する他、各地で活発な演奏活動を行っている。日本・スペイン交流事業としてアランフェスにて D. スカルラッチィを中心とするプログラムのリサイタルを行った。CD に「イタリアへの夢 I, II, III」（いずれもレコード芸術誌特選盤）、「ブクステフーデ：ヴァイオリン、ヴィオラ・ダ・ガンバ、チェンバロのためのソナタ全集」（文化庁芸術祭レコード部門優秀賞）等がある。現在、愛知県立芸術大学非常勤講師、富山古楽協会チェンバロ講師を務める他、兵庫での「本気！講座」シリーズ、東京での「舞曲講座」、オンラインでの「通奏低音&音楽理論講座」などバロック音楽とチェンバロの魅力を伝えるマスタークラスを行っている。2024 年、ソロ CD「チェンバロの旅～イタリア・バロック音楽 150 年の軌跡」（音楽現代特選盤、朝日新聞推薦盤、山野楽器必聴傾聴盤、stereo 誌優秀録音盤）をリリース。



今井館聖書講堂（撮影：浅川敏氏）



ボルファートとやま・チャペル